

(29) 公益財団法人 鳥取県魚の豊かな川づくり基金経営状況報告書

法人の概要

- 1 名 称 公益財団法人 鳥取県魚の豊かな川づくり基金
- 2 目 的 県内の河川及び湖沼における水産資源の増殖及び水や魚に親しむ機会の提供の促進に関する事業を行い、魚の豊かな川づくりを推進し、もって本県の内水面漁業の振興及び地域の活性化に寄与することを目的とする。
- 3 公益認定年月日 平成24年3月23日
(財団法人 鳥取県魚の豊かな川づくり基金設立許可年月日
平成6年3月4日)
- 4 設立登記年月日 平成24年4月1日
(財団法人 鳥取県魚の豊かな川づくり基金設立登記年月日
平成6年3月7日)
- 5 基 本 財 産 576,566,696円
出えん金 600,000,000円
鳥取県出えん金 275,000,000円
関係市町村出えん金 200,000,000円
建設業協会出えん金 100,000,000円
漁業関係団体出えん金 25,000,000円
平成29年4月1日取崩し 4,000,000円
平成30年4月2日取崩し 9,000,000円
平成31年4月2日取崩し 9,000,000円
令和2年4月2日取崩し 3,500,000円
令和3年3月31日償却原価 4,466,696円
令和3年4月2日取崩し 2,400,000円
- 6 役 員 等 評 議 員 4人 理 事 4人 監 事 2人
評 議 員 安 住 正 治 (元鳥取県漁業信用基金協会理事長)
" 小 野 達 也 (国立大学法人鳥取大学地域学部教授)

評 議 員	中 前 雄一郎 (元小学校校長)
〃	森 下 恵 子 (公益社団法人鳥取県栄養士会管理 栄養士)
代 表 理 事	中 田 達 彦 (日吉津村長)
業 務 執 行 理 事	國 米 洋 一 (鳥取県農林水産部水産振興局長)
理 事	佐 藤 英 夫 (鳥取県内水面漁業協同組合連合会 長)
〃	米 谷 浩 一 (一般社団法人鳥取県建設業協会専 務理事)
監 事	田 中 英 利 (鳥取市農林水産部長)
〃	武 村 英 治 (鳥取県信用漁業協同組合連合会代 表監事)

7 職 員 3人

8 事 務 所 鳥取市東町一丁目220番地

令和2年度事業実施状況

〈公益目的事業1：県内の河川及び湖沼における水産資源の増殖促進に関する事業〉

1 増殖促進事業

県内の内水面漁業協同組合（以下「内水面漁協」という。）が河川及び湖沼の水産資源の増殖を促進するために実施する、淡水魚介類（アユ、ヤマメ、ウナギ等）の種苗の放流及び水産資源の確保のための事業（産卵場造成、カワウの追払い等）に対し、事業費の一部を助成した。

決算額：7,820,000円

[実施状況]

- (1) 実施主体：千代川漁業協同組合
 - ・内容：アユの種苗放流、アユの産卵場造成
 - ・事業費（うち助成費）：2,636,430円（2,386,000円）
- (2) 実施主体：天神川漁業協同組合
 - ・内容：アユ、ヤマメなどの種苗放流、産卵場造成、カワウ追払い等
 - ・事業費（うち助成費）：4,800,249円（1,355,000円）
- (3) 実施主体：日野川水系漁業協同組合
 - ・内容：アユ、ヤマメなどの種苗放流、産卵場造成、カワウ追払い等
 - ・事業費（うち助成費）：45,639,349円（2,671,000円）
- (4) 実施主体：湖山池漁業協同組合
 - ・内容：フナの採卵・孵化放流、ウナギ稚魚などの放流、シジミ漁場清掃等
 - ・事業費（うち助成費）：741,894円（607,000円）
- (5) 実施主体：東郷湖漁業協同組合
 - ・内容：ウナギ及びフナの種苗放流、エビなどの産卵場造成、池の清掃等
 - ・事業費（うち助成費）：934,000円（801,000円）

〈公益目的事業2：県内の河川及び湖沼における水生動物等に親しむ機会の提供の促進に関する事業〉

2 ふれあい事業

県内の市町村、非営利団体、内水面漁協が河川又は湖沼において実施する、地元の住民を中心とした魚のつかみ取り、放流等を行う下記5実施主体が実施する事業に対し、事業費の一部を助成した。

なお、当初17事業に対して助成予定であったが、新型コロナウイルス感染症感染防止のため、12事業が中止、又は取下げとなった。

また、市町村が実施主体の事業については、当基金から直接助成（3市町分：115,000円）し、民間団体等が実施主体の事業については、鳥取県からの補助金を活用（2団体分：73,000円）した。

決算額：188,000円

[実施状況]

- (1) 実施主体：鳥取市
 - ・内容：地元の園児によるヤマメの稚魚放流
 - ・事業費（うち助成費）：30,000円（15,000円）
- (2) 実施主体：八頭町
 - ・内容：地元の園児等によるヤマメの稚魚放流
 - ・事業費（うち助成費）：100,000円（50,000円）
- (3) 実施主体：若桜町
 - ・内容：職員等によるヤマメ及びイワナの稚魚放流
※新型コロナウイルス感染症感染防止のため、園児による放流を見合わせた。
 - ・事業費（うち助成費）：450,000円（50,000円）
- (4) 実施主体：小鷲河ふる里をまもる会
 - ・内容：親子による淡水魚の生態観察会、ヤマメのつかみ取り等
 - ・事業費（うち助成費）：89,816円（44,000円）
- (5) 実施主体：三滝まもり隊
 - ・内容：地元住民、観光客等祭りの参加者によるヤマメ釣り

・事業費 (うち助成費) : 75, 193円 (29, 000円)

(公益目的事業3 : 県内の河川及び湖沼に関する水産資源の保護培養のための普及啓発に関する事業)

3 普及啓発事業

県内の河川及び湖沼において円滑に水生動物等にやさしい生息環境づくりを推進していくため、各関係者が情報共有、学ぶ機会となる講演会を鳥取県と共同で開催したほか、内水面に関する規則等を掲載した県内の主要河川水系等のマップを作成した。

事業費総額 : 47, 333円 (マップ印刷代)

(1) 講演会の開催

「現在の河川環境に適したアユ漁場の造成」について、山口県から講師を招き講演会を開催した。

・目的 : 鳥取県のアユは、冷水病のまん延、カワウによる食害、河川環境の悪化等により資源量の低い状況が続いている。改善のためには、各河川の状態に合わせた対策が必要となる。53水系258河川に及ぶ膨大な調査、現場のデータに基づいたアユ等水産有用種の生息環境の保全や増殖手法開発について具体的な事例を紹介いただくことにより、技術、方法を学び、今後の鳥取県の取組に活かす。

・日時 : 令和2年9月10日(木) 午後1時15分から午後3時30分まで

・場所 : とりぎん文化会館1階 第1会議室(鳥取市尚徳町101-5)

・参加者 : 森下恵子評議員、國米洋一業務執行理事、中瀬書記 ほか約50名の参加者

・次第

①開会挨拶 國米洋一氏(鳥取県農林水産部水産振興局長、川づくり基金業務執行理事)

②調査発表「アユ資源緊急回復試験の進捗について」

発表者 田中 靖氏(鳥取県栽培漁業センター研究員)

③講演「現在の河川環境に適したアユ漁場の造成」

講師 畑間 俊弘氏(山口県柳井農林水産事務所水産部主査)

④質疑応答

⑤閉会

(2) マップの作成(2,000部作成)

・内容 : 日野川水系川マップ、湖山池マップを最新の情報に修正したほか、東郷池マップを新たに作成して各関係機関に配布した。

・配布先 : 県内の市町村、遊漁証取扱先、内水面漁業協同組合

正味財産増減計算書

令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	8,185,763	645,700	7,540,063
基本財産受取利息	8,185,763	645,700	7,540,063
雑収益	350	93	257
受取利息	350	93	257
基本財産取崩収入	3,500,000	9,000,000	△ 5,500,000
取崩収入	3,500,000	9,000,000	△ 5,500,000
受取補助金	73,000	435,000	△ 362,000
県補助金	73,000	435,000	△ 362,000
経常収益計	11,759,113	10,080,793	1,678,320
(2) 経常費用			
事業費	10,882,359	10,502,162	380,197
助成費	8,008,000	8,370,000	△ 362,000
給料手当	2,308,680	1,662,624	646,056
退職給付費用	30,000	0	30,000
福利厚生費	334,023	258,671	75,352
通信運搬費	54,634	59,807	△ 5,173
印刷製本費	47,333	63,249	△ 15,916
光熱水料費	9,684	9,628	56
賃借料	90,005	78,183	11,822
管理費	813,025	618,241	194,784
役員報酬	45,900	0	45,900
給料手当	577,170	415,656	161,514
退職給付費用	7,500	0	7,500
福利厚生費	83,506	64,668	18,838
旅費交通費	39,025	55,150	△ 16,125
通信運搬費	13,658	14,952	△ 1,294
消耗品費	16,292	17,992	△ 1,700
光熱水料費	2,421	2,407	14
賃借料	22,501	19,546	2,955
食糧費	2,922	23,330	△ 20,408
雑費	2,130	4,540	△ 2,410
経常費用計	11,695,384	11,120,403	574,981
評価損益等調整前当期経常増減額	63,729	△ 1,039,610	1,103,339
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	63,729	△ 1,039,610	1,103,339
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	63,729	△ 1,039,610	1,103,339
一般正味財産期首残高	1,465,705	2,505,315	△ 1,039,610
一般正味財産期末残高	1,529,434	1,465,705	63,729
II 指定正味財産増減の部			
基本財産運用益	8,185,763	645,700	7,540,063
基本財産取崩収入	3,500,000	9,000,000	△ 5,500,000
投資有価証券償却原価額	4,466,696	0	4,466,696
一般正味財産への振替額	△ 11,685,763	△ 9,645,700	△ 2,040,063
当期指定正味財産増減額	966,696	△ 9,000,000	9,966,696
指定正味財産期首残高	578,000,000	587,000,000	△ 9,000,000
指定正味財産期末残高	578,966,696	578,000,000	966,696
III 正味財産期末残高	580,496,130	579,465,705	1,030,425

正味財産増減計算書内訳表

令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計					法人会計	内部取引 等消去	合計
	公1:増進促進事業	公2:ふれあい事業	公3:普及啓発事業	共通	小計			
I 一般正味財産増減の部								
1. 経常増減の部								
(1) 経常収益								
基本財産運用益	0	0	0	7,367,187	7,367,187	818,576		8,185,763
基本財産受取利息				7,367,187	7,367,187	818,576		8,185,763
雑収益	0	0	0	0	0	350		350
受取利息						350		350
基本財産取崩収入	0	0	0	3,150,000	3,150,000	350,000		3,500,000
取崩収入				3,150,000	3,150,000	350,000		3,500,000
受取補助金	0	73,000	0	0	73,000	0		73,000
県補助金		73,000			73,000			73,000
経常収益計	0	73,000	0	10,517,187	10,590,187	1,168,926	0	11,759,113
(2) 経常費用								
事業費	8,173,379	894,756	1,814,224	0	10,882,359			10,882,359
助成費	7,820,000	188,000			8,008,000			8,008,000
給料手当	288,585	577,170	1,442,925		2,308,680			2,308,680
退職給付費用	3,750	7,500	18,750		30,000			30,000
福利厚生費	41,753	83,506	208,764		334,023			334,023
旅費交通費					0			0
通信運搬費	6,829	13,658	34,147		54,634			54,634
印刷製本費			47,333		47,333			47,333
光熱水料費	1,211	2,421	6,052		9,684			9,684
賃借料	11,251	22,501	56,253		90,005			90,005
管理費						813,025		813,025
役員報酬						45,900		45,900
給料手当						577,170		577,170
退職給付費用						7,500		7,500
福利厚生費						83,506		83,506
旅費交通費						39,025		39,025
通信運搬費						13,658		13,658
消耗品費						16,292		16,292
光熱水料費						2,421		2,421
賃借料						22,501		22,501
食糧費						2,922		2,922
雑費						2,130		2,130
経常費用計	8,173,379	894,756	1,814,224	0	10,882,359	813,025	0	11,695,384
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 8,173,379	△ 821,756	△ 1,814,224	10,517,187	△ 292,172	355,901	0	63,729
評価損益等計	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常増減額	△ 8,173,379	△ 821,756	△ 1,814,224	10,517,187	△ 292,172	355,901	0	63,729
2. 経常外増減の部								
(1) 経常外収益	0	0	0	0	0	0		0
経常外収益計	0	0	0	0	0	0		0
(2) 経常外費用	0	0	0	0	0	0		0
経常外費用計	0	0	0	0	0	0		0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0		0
当期一般正味財産増減額	△ 8,173,379	△ 821,756	△ 1,814,224	10,517,187	△ 292,172	355,901	0	63,729
一般正味財産期首残高	0	0	0	0	0	1,465,705		1,465,705
一般正味財産期末残高	△ 8,173,379	△ 821,756	△ 1,814,224	10,517,187	△ 292,172	1,821,606	0	1,529,434
II 指定正味財産増減の部					0			0
基本財産運用益	0	0	0	7,367,187	7,367,187	818,576		8,185,763
基本財産取崩収入	0	0	0	3,150,000	3,150,000	350,000		3,500,000
投資有価証券償却原価額	0	0	0	4,020,026	4,020,026	446,670		4,466,696
一般正味財産への振替額				△ 10,517,187	△ 10,517,187	△ 1,168,576		△ 11,685,763
当期指定正味財産増減額	0	0	0	870,026	870,026	96,670		966,696
指定正味財産期首残高				520,200,000	520,200,000	57,800,000		578,000,000
指定正味財産期末残高	0	0	0	521,070,026	521,070,026	57,896,670		578,966,696
III 正味財産期末残高	△ 8,173,379	△ 821,756	△ 1,814,224	531,587,213	520,777,854	59,718,276	0	580,496,130

貸借対照表

令和3年3月31日現在

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金（普通預金）	4,222,427	3,691,946	530,481
未収金	0	435,000	△ 435,000
流動資産合計	4,222,427	4,126,946	95,481
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
現金預金（普通預金）	27,421,000	0	27,421,000
現金預金（定期預金）	67,000,000	578,000,000	△ 511,000,000
投資有価証券	484,545,696	0	484,545,696
基本財産合計	578,966,696	578,000,000	966,696
固定資産合計	578,966,696	578,000,000	966,696
資産合計	583,189,123	582,126,946	1,062,177
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	2,686,305	2,657,731	28,574
預り金	6,688	3,510	3,178
流動負債合計	2,692,993	2,661,241	31,752
負債合計	2,692,993	2,661,241	31,752
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
現金預金（普通預金）	27,421,000	0	27,421,000
現金預金（定期預金）	67,000,000	578,000,000	△ 511,000,000
投資有価証券	484,545,696	0	484,545,696
指定正味財産合計	578,966,696	578,000,000	966,696
（うち基本財産への充当額）	(578,966,696)	(578,000,000)	(966,696)
2. 一般正味財産			
（うち基本財産への充当額）	(0)	(0)	(0)
正味財産合計	580,496,130	579,465,705	1,030,425
負債及び正味財産合計	583,189,123	582,126,946	1,062,177

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券 償却原価法（定額法）によっている。

2. 基本財産の増減額及びその残高

基本財産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
普通預金	0	27,421,000	0	27,421,000
定期預金	578,000,000	67,000,000	578,000,000	67,000,000
投資有価証券	0	484,545,696	0	484,545,696
小 計	578,000,000	578,966,696	578,000,000	578,966,696
合 計	578,000,000	578,966,696	578,000,000	578,966,696

3. 基本財産の財源等の内訳

基本財産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
普通預金	27,421,000	(27,421,000)	(0)	-
定期預金	67,000,000	(67,000,000)	(0)	-
投資有価証券	484,545,696	(484,545,696)	(0)	-
小 計	578,966,696	(578,966,696)	(0)	-
合 計	578,966,696	(578,966,696)	(0)	-

4. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位:円)

種類及び銘柄	帳簿価額	時価	評価損益
第51回ソトバンクグループ社債	292,288,500	306,210,000	△ 13,921,500
第55回ソトバンクグループ社債	192,257,196	202,040,000	△ 9,782,804
小 計	484,545,696	508,250,000	△ 23,704,304
合 計	484,545,696	508,250,000	△ 23,704,304

5. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位:円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の 記載区分
補助金 令和2年度鳥取県魚を育む 内水面漁業活動支援事業 費補助金	鳥取県	0	73,000	73,000	0	
合 計		0	73,000	73,000	0	

6. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	
基本財産受取利息	8,185,763
基本財産取崩収入	3,500,000
合 計	11,685,763

財 産 目 録
令和3年3月31日現在

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)	預金	普通預金 鳥取県信用漁業協同組合 連合会本店	運転資金として	4,222,427
流動資産合計				4,222,427
(固定資産)	基本財産	普通預金 鳥取県信用漁業協同組合 連合会本店	公益目的保有財産であり、運用益を 公益目的事業の財源として使用して いる。	24,678,900
	預金	普通預金 鳥取県信用漁業協同組合 連合会本店	公益目的事業に必要な業務又は活動 の用に供する財産であり、運用益を 管理費の財源として使用している。	2,742,100
	預金	定期預金 鳥取県信用漁業協同組合 連合会本店	公益目的保有財産であり、運用益を 公益目的事業の財源として使用して いる。	60,300,000
	預金	定期預金 鳥取県信用漁業協同組合 連合会本店	公益目的事業に必要な業務又は活動 の用に供する財産であり、運用益を 管理費の財源として使用している。	6,700,000
	投資有価証券	事業債 第51回、55回 ソフトバンクグループ社債	公益目的保有財産であり、運用益を 公益目的事業の財源として使用して いる。	436,091,126
	投資有価証券	事業債 第51回、55回 ソフトバンクグループ社債	公益目的事業に必要な業務又は活動 の用に供する財産であり、運用益を 管理費の財源として使用している。	48,454,570
固定資産合計				578,966,696
資産合計				583,189,123
(流動負債)	未払金	日野川水系漁業協同組合に 対する未払額	令和2年度増殖促進事業助成費未払 い分	2,671,000
		NTTファイナンス(株)に 対する未払額	NTT西日本等利用料(3月分)未払い 分	5,621
		鳥取労働局に対する未払い 額	令和2年度労働保険料確定による未 払い分	9,684
	預り金	役員、職員からの預り額	源泉所得税(1~3月分)	6,688
流動負債合計				2,692,993
負債合計				2,692,993
正味財産				580,496,130

附属明細書

1. 基本財産の明細

基本財産の明細は、財務諸表に対する注記に記載しているため省略する。

2. 引当金の明細

該当なし。

令和3年度事業計画

〈公益目的事業1：県内の河川及び湖沼における水産資源の増殖促進に関する事業〉

1 増殖促進事業

県内の内水面漁業協同組合（以下「内水面漁協」という。）が河川及び湖沼の水産資源の増殖を促進するために実施する、淡水魚介類（アユ、ヤマメ、シジミ等）の種苗の放流及び水産資源の確保のための事業（産卵場造成、カワウ被害防除等）に対し、事業費の一部を助成する。

なお、この事業は、種苗放流と水産資源の確保のための事業を併せて実施することを採択条件としている。

計画助成費総額：7,820,000円

[助成計画]

実施主体	助成額
千代川漁業協同組合	2,425,000円
天神川漁業協同組合	1,374,000円
日野川水系漁業協同組合	2,613,000円
湖山池漁業協同組合	742,000円
東郷湖漁業協同組合	666,000円

〈公益目的事業2：県内の河川及び湖沼における水生動物等に親しむ機会の提供の促進に関する事業〉

2 ふれあい事業

県内の市町村、非営利団体、内水面漁協が河川又は湖沼において実施する、地元の住民を中心とした魚のつかみ取りや魚の放流等を行う下記15実施主体が実施する事業に対し、事業費の一部を助成する。

なお、この事業は、前年度中に公募し、理事会において応募のあった事業について審査・選定を行い、助成先及び助成額を決定する。

また、市町村が実施主体の事業については当基金から直接助成（3市町分：115,000円）し、民間団体等が実施主体の事業については鳥取県の補助金を活用（12団体分：452,000円）する。

計画助成費総額：567,000円（うち基金助成額：115,000円）

[助成計画]

実施主体	助成額
鳥取市	15,000円
八頭町	50,000円
若桜町	50,000円
河原町あゆ祭企画実行委員会	50,000円
国府フィッシングフェスタ実行委員会	50,000円
小鷲河ふる里をまもる会	50,000円
佐治ふるさと祭り実行委員会	50,000円
三滝まもり隊	38,000円
智頭町親水公園連絡協議会	20,000円
大瀬区	30,000円
高勢地域協議会	25,000円
竹田地域協議会	20,000円
みささ村地域協議会	25,000円
江府町観光協会	50,000円
日野川水系漁業協同組合	44,000円

〈公益目的事業3：県内の河川及び湖沼に関する水産資源の保護培養のための普及啓発に関する事業〉

3 普及啓発事業

県内の河川及び湖沼において円滑に水生動物等にやさしい生息環境づくりを推進していくため、各関係者が情報共有できる機会となる講演会を開催するほか、内水面に関する規則等を掲載した県内の主要河川水系等のマップを作成することにより、水産資源の保護培養のための普及啓発を行う。

計画事業費総額：135,000円

(1) 講演会の開催

内水面漁業振興の一助とするため、県外の知見を学び今後の対策に活かす講演会を、県の水産課と連携して開催する。

また、次年度事業の実施の際の参考とするため、アンケートを実施する。

(2) マップの作成

・県内の主要1河川2湖沼(※)における禁止区域、規則等を掲載した「マップ」を最新の情報に修正し、市町村、遊漁証取扱先、内水面漁協に無償配布する。

なお、マップは、不特定多数の方が幅広く活用できるよう当基金のホームページにも掲載する。

※作成するマップ：湖山池マップ、東郷池マップ、日野川水系川マップ 計2,000部作成予定

・天神川漁業協同組合から要望を受け、天神川水系川マップを一新する。

※印刷会社が作成 計2,500部作成予定

収 支 予 算 書

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

(単位：千円)

科 目	予算額	前年度予算額	増 減	備 考
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用益	9,443	8,185	1,258	
基本財産受取利息	9,443	8,185	1,258	社債,1年定期
雑収益	1	1	0	
受取利息	1	1	0	普通預金
基本財産取崩収入	2,400	3,500	△ 1,100	
取崩収入	2,400	3,500	△ 1,100	運営資金
受取補助金	452	538	△ 86	
県補助金	452	538	△ 86	ふれあい民間団体分
経常収益計	12,296	12,224	72	
(2) 経常費用				
事業費	11,529	11,506	23	
助成費	8,387	8,473	△ 86	
給料手当	2,400	2,400	0	*:共通経費
退職給付費用	42	32	10	*
福利厚生費	384	368	16	*
旅費交通費	15	2	13	
通信運搬費	56	56	0	*
印刷製本費	135	65	70	
光熱水料費	12	12	0	*
賃借料	96	96	0	*
雑費	2	2	0	
管理費	1,027	1,005	22	
役員報酬	144	144	0	
給料手当	600	600	0	*
退職給付費用	11	8	3	*
福利厚生費	96	92	4	*
旅費交通費	60	60	0	
通信運搬費	14	14	0	*
消耗品費	40	25	15	
光熱水料費	3	3	0	*
賃借料	24	24	0	*
食糧費	30	30	0	
雑費	5	5	0	
経常費用計	12,556	12,511	45	
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 260	△ 287	27	
評価損益等計	0	0	0	
当期経常増減額	△ 260	△ 287	27	
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	△ 260	△ 287	27	
一般正味財産期首残高	1,526	1,460	66	
一般正味財産期末残高	1,266	1,173	93	
II 指定正味財産増減の部				
基本財産運用益	9,443	8,185	1,258	
基本財産取崩	2,400	3,500	△ 1,100	
一般正味財産への振替額	△ 11,843	△ 11,685	△ 158	
当期指定正味財産増減額	△ 2,400	△ 3,500	1,100	
指定正味財産期首残高	578,966	578,000	966	
指定正味財産期末残高	576,566	574,500	2,066	
III 正味財産期末残高	577,832	575,673	2,159	

収支予算書内訳表

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

(単位：千円)

科 目	公益目的事業会計					法人会計	内部取引 等消去	合計
	※1:増進促進事業	※2:ふれあい事業	※3:普及啓発事業	共通	小計			
I 一般正味財産増減の部								
1. 経常増減の部								
(1) 経常収益								
基本財産運用益	0	0	0	8,499	8,499	944		9,443
基本財産受取利息	0	0	0	8,499	8,499	944		9,443
雑収益	0	0	0	0	0	1		1
受取利息	0	0	0	0	0	1		1
基本財産取崩収入	0	0	0	2,160	2,160	240		2,400
取崩収入	0	0	0	2,160	2,160	240		2,400
受取補助金	0	452	0	0	452	0		452
県補助金	0	452	0	0	452	0		452
経常収益計	0	452	0	10,659	11,111	1,185		12,296
(2) 経常費用								
事業費	8,193	1,315	2,021	0	11,529			11,529
助成費	7,820	567	0	0	8,387			8,387
給料手当	300	600	1,500	0	2,400			2,400
退職給付費用	5	11	26	0	42			42
福利厚生費	48	96	240	0	384			384
旅費交通費	0	0	15	0	15			15
通信運搬費	7	14	35	0	56			56
印刷製本費	0	0	135	0	135			135
光熱水料費	1	3	8	0	12			12
賃借料	12	24	60	0	96			96
雑費	0	0	2	0	2			2
管理費						1,027		1,027
役員報酬						144		144
給料手当						600		600
退職給付費用						11		11
福利厚生費						96		96
旅費交通費						60		60
通信運搬費						14		14
消耗品費						40		40
光熱水料費						3		3
賃借料						24		24
食糧費						30		30
雑費						5		5
経常費用計	8,193	1,315	2,021	0	11,529	1,027		12,556
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 8,193	△ 863	△ 2,021	10,659	△ 418	158		△ 260
評価損益等計	0	0	0	0	0	0		0
当期経常増減額	△ 8,193	△ 863	△ 2,021	10,659	△ 418	158		△ 260
2. 経常外増減の部								
(1) 経常外収益								
経常外収益計	0	0	0	0	0	0		0
(2) 経常外費用								
経常外費用計	0	0	0	0	0	0		0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0		0
当期一般正味財産増減額	△ 8,193	△ 863	△ 2,021	10,659	△ 418	158		△ 260
一般正味財産期首残高	0	0	0	0	0	1,526		1,526
一般正味財産期末残高	△ 8,193	△ 863	△ 2,021	10,659	△ 418	1,684		1,266
II 指定正味財産増減の部								
基本財産運用益	0	0	0	8,499	8,499	944		9,443
基本財産取崩	0	0	0	2,160	2,160	240		2,400
一般正味財産への振替額	0	0	0	△ 10,659	△ 10,659	△ 1,184		△ 11,843
当期指定正味財産増減額	0	0	0	△ 2,160	△ 2,160	△ 240		△ 2,400
指定正味財産期首残高	0	0	0	521,069	521,069	57,897		578,966
指定正味財産期末残高	0	0	0	518,909	518,909	57,657		576,566
III 正味財産期末残高	△ 8,193	△ 863	△ 2,021	529,568	518,491	59,341		577,832